会見資料2

しあわせ信州
山々と育む　すこやかな国

長野県（林務部）プレスリリース　令和7年（2025年）5月29日

５月５日に飯山市で捕獲されたツキノワグマの個体は４月に発生した人身被害の加害個体とは別個体と判定されました

５月５日に飯山市の千曲川中洲で捕獲されたツキノワグマについて、４月９日に飯山市で発生したツキノワグマによる人身被害の加害個体と同じ個体であるか確認するため、筑波大学のご協力をいただきＤＮＡ鑑定を行った結果、遺伝子型は一致せず、同一のものではない（別の個体である）と判定されたため、お知らせします。

概要

〇捕獲日時　令和７年５月５日　午前７時55分
〇捕獲場所　千曲川中洲（飯山市飯山地区　黄金石地籍）
〇捕獲に至るまでの経緯等
・４月　９日　飯山市常盤地区においてツキノワグマによる人身被害発生
・５月　５日　飯山市の千曲川中洲においてツキノワグマを確認
近隣でイベント等が開催されていたこと等から、人身被害が発生する危険性が非常に高まっていると判断し、県の許可を得て飯山市が対象個体を捕獲

ＤＮＡ鑑定実施機関

筑波大学山岳科学センター菅平高原実験所　（分析兼鑑定者：津田　吉晃　准教授）

ＤＮＡの鑑定結果等

	４月９日人身被害の加害個体	５月５日捕獲個体
ＤＮＡの採取方法	空き家（住宅の壁および庭周辺のササ）に残存したツキノワグマと思われる血痕を綿棒で採取	捕獲後、筋肉片を採取
鑑定結果	16遺伝子座のうち14遺伝子座で，遺伝子型が不一致	

以上の鑑定結果から採取した遺伝子型が一致しなかったため、別個体であると判断

県民の皆様へのお願い

朝夕等のクマが活発に活動する時間に山へ入ることは避け、行動時にはクマ鈴やラジオを携行したり複数人で行動したりするなど、クマと遭遇しないよう注意や対策をお願いします。（詳細は別紙「県民の皆様へのお願い」を参照ください）

長野県産木材のある穏やかな暮らしをマークにしました
長野県産木材ロゴマーク＆キャッチフレーズについてはこちらから➡
つなぐ木のいのち
NAGANO WOOD PRODUCT

（問合せ先）
担　　当　林務部森林づくり推進課
　　鳥獣対策係　宮坂、田淵
電　　話　（直通）026-235-7273
　　（代表）026-232-0111（内線）3264
ＦＡＸ　026-234-0330
電子メール　choju@pref.nagano.lg.jp

県民の皆様へのお願い

初夏（5月～6月上旬）のクマに注意！

○ クマの行動範囲が広がり、集落での目撃が増えてくる時期です

生ごみ等、人には利用価値がないものもクマにとっては、栄養価の高い食べ物です。
集落に引き寄せる原因にもつながりますので、長時間屋外に放置しないようにしましょう。
（参考：クマの誘引物　生ごみ、残飯、廃油、油性塗料、燃料など）

○ 山菜採りは周囲の確認をしながら

・クマは草や木の芽を好んで食べるため、山菜採りで遭遇する可能性があります。山菜採りに熱中するあまり周辺への注意力が散漫にならないよう注意が必要です。

・特にネマガリタケの採取は見通しが悪い状況となり、クマとばったり遭遇する危険があります。クマ鈴やラジオを過信せず、複数人で行動するなど周囲に十分気をつけましょう。

○ 親子グマに注意を

母グマは、子グマを１～２頭連れている可能性があり、子グマを守るために、神経質になっています。母グマの姿が見えなくても、そばにいる可能性が高いため、近寄ることは大変　　危険です。

クマと遭遇しないよう下記のことに注意してください。

◇ 朝夕の行動は避ける

朝夕はクマが活発に活動します。この時間帯に山中に入ることは避けましょう。

◇ 周囲の確認をする

山菜（ネマガリタケ含む）はクマの好物です。山菜のある場所には、クマもいる可能性があります。
特に渓流沿いは、水の音でクマも人もお互いの気配を感じず接近してしまうことがありますので注意が必要です。（釣りを行う際は特に注意しましょう）

◇ クマのいる場所に近づかない

山中はクマの生息地で、どこにいてもおかしくありません。クマの足跡や糞などを見つけたら、それ以上近づかずに引き返しましょう。

◇ 笛、ラジオ、鈴の携帯を

クマは聴覚や嗅覚が人より優れています。人の気配を感じたクマは自ら避けてくれます。
笛、ラジオ、クマ避け鈴など音の出る物を携行しましょう。

◇ 子グマを見たら立ち去る

子グマの近くには必ず母グマがいます。母グマは子グマを守るために、人へ攻撃することがあります。子グマを見かけたら、そのままそっと立ち去りましょう。

◇ 犬は連れて行かない

人の気配を感じたクマは、身を隠して人をやり過ごそうとしますが、一緒にいる犬に吠えられるなどして驚いたクマが、人へ攻撃をする場合があります。犬を連れて山中へ入るのはやめましょう。

◇ 不意の遭遇に備えて

注意をしていてもクマと遭遇してしまった場合、ヘルメットを着用していると頭部の被害を軽減できます。